



先日、清湖小学校に来られたお客さんから心温まるうれしいお話を頂きました。

「職員玄関でインターホンを押そうとしたときに、そうじをしていた6年生の女の子が非常に上品な会釈（えしゃく）をしてくれました。しかもその後、扉を開けてくれて校内へ招き入れてくれました。とてもうれしい気持ちになりました。清湖小学校の子どもたちは心優しいですね。」

さすが、6年生！まさに「学校の顔」です。この女の子はきっとこの日だけではなく、日頃から礼儀正しく生活することを心がけているはず。学校生活だけでなく、様々な場面で礼儀正しく行動することを意識していきたいものです。気持ちの良いあいさつや、ていねいな靴の並べ方などが清湖小学校では当たり前になりつつあります。特に、高学年を中心に下級生のお手本になろうとする意欲が感じられるようになってきました。この「礼儀正しい心」が清湖の伝統になるように、全校で継続して取り組んでいきます。



子どもたちが輝く姿、たくさん見られます！

道徳便り「キラキラ通信」では、道徳の授業や、日々の学校生活の中の頑張り・成長（キラキラ輝く姿）を中心に紹介していきます。第2号では、5年生の授業の様子をお伝えします。



【図書室前の様子】

人々のつながり 感謝について考えよう（5年）

よりよい人間関係を築くためには、お互いを認め合うことが大切です。そして、その土台には、相手に対する尊敬と感謝の気持ちが必要であると考えて、授業を行いました。

資料名「緑の少年団」（ふるさとがはぐくむどうとくいしかわ）

ゲストティーチャーのお話
真剣に耳を傾ける姿

ぼくがやっていた草かりも役に立っていたんだ！



活動に参加したくない気持ちも分かるよ。



過去から人々が何を願い、自分たちの生活とどう関わっているのかを知り、温かなつながりの中に自分があることに対して、感謝の気持ちを抱いてくれるとうれしいです。